



北心だより

令和6年6月4日 NO.3



学校教育目標

夢に向かって 輝き合う子

研修で目指す子供の姿

今号では、わたしたち教職員が日々行っている「研修」について紹介します。北浜北小学校の教員は、「主体的に学ぶ子の育成」を目指して研修をしています。「主体的に学ぶ」ということを聞いて、保護者の皆さんはどのようなことを思うでしょうか。「自分から進んで学習に取り組む」「発表をたくさんする」など様々なことが思い浮かぶと思います。

文部科学省では、「主体的な学び」とは「学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる」ことだと、定義しています。それを受け、北浜北小学校では、今年度、目指していきたい主体的に学ぶ姿を職員全員で出しましたのでここで紹介します。今年度、この「目指す姿」に対して、どのような手立てをしていけばよいのか授業改善を進めていきます。

（授業の導入部分）

- ・なぜだろうと疑問をもったり、予想したりして「やってみたい」と思っている。
- ・何ができるようになったらよいかという明確な目標をもっている。
- ・学習内容を自分ごととしてとらえ、自分で目標を立てたり課題を明らかにしたりしている。
- ・学習することが分かり、見通しをもっている。

（授業の展開部分）

- ・自分から解決方法を考えたり選択したりして、その子なりの方法で活動に取り組もうとしている。
- ・諦めず課題解決に取り組んでいる。
- ・課題に対して、他の方法や見方を考え、より良いものを追究しようとしている。
- ・友達の考えをよく聞き、自分の考えと比べたり、協力したりして解決しようとしている。
- ・自分の思いや考えを表現・発信しようとしている。

（まとめ）

- ・学習した内容（大切なこと）を自分の言葉でまとめている。
- ・分かったことを積極的に他の人に伝えようとしている。

（自分の学びを振り返る）

- ・学習を通しての自分の変容を実感している。
- ・新たな疑問やこれからやりたいことを明らかにしている。
- ・学んだことを自分の生活と関わらせて考えたり、今後の生活や次（他）の学習に生かそうとしたりしている。

「授業で〇〇ができるようになってうれしい」「次はこんな学習をするのが楽しみ」「こんなことができるようになりたい」こんな言葉が、御家庭で自然と出てくるような授業を目指していきます。